

今週のビルマのニュース
2009年5月8日【0918号】

今週の主なニュース：泳いでスーチー氏訪問？ほか

・国営紙によれば、治安当局が6日早朝、ラングレンのインヤ湖を泳いでいた米国籍の男性を逮捕した。インヤ湖には自宅軟禁されている民主化指導者アウンサンスーチー氏宅があり、周辺での遊泳は禁止されている。国営紙によれば男性は3日夜にインヤ湖を泳いでスーチー氏宅の敷地に侵入、2日間滞在し、泳いで戻るところを見つけた。氏と接触したのかは不明。スーチー氏宅に何者かが侵入したのは恐らく初めてで、氏が書記長を務める国民民主連盟(NLD)の幹部は、氏の身の安全が心配だと述べた。近所の人によれば、7日朝には警察官約20人がスーチー氏の敷地に入り午後までいた(8日付APほか)。

・軍政は1日、アウンサンスーチー氏の拘束延長について昨年10月に出されていた異議申し立てを、根拠が不十分という理由で却下した(6日付AP)。

その他：日・EU首脳協議ほか

・麻生首相は4日、EU議長国チェコ共和国のクラウス大統領らと日・EU定期首脳協議を行った。共同プレス声明によれば日・EU首脳は、ビルマで軍政が2010年に予定している選挙が「すべての関係者の間の包括的な対話を基礎としたものであれば国際社会に歓迎され得るであろうことを指摘」。これに関連し、アウンサンスーチー氏を始めとした政治囚を直ちに釈放し、政党に対するすべての制約を解除するよう軍政に呼びかけた。日・EU首脳はまた、実質的な政治的前進や人権尊重に向けた歩みに対しては「前向きに反応する用意がある」ことを表明した。

・モン人権基金(HURFOM)は6日、ビルマ南部を縦断する天然ガス輸送パイプライン(全長約300キロメートル)の維持や警備に関連して組織的な人権侵害が行われているとする報告書を発表した。警備に当たる国軍部隊の生活を支えるために土地の接収や食糧の略奪が行われている上、兵士がパイプライン周辺を巡回する際に周辺住民に荷物を運ばせるなどの強制労働のほか、性暴力や超法規的処刑も起きているという。(注)このパイプラインはアンダマン海のヤダナ田からカレン州ミヤインカレーまで天然ガスを運ぶ。ヤダナ田から出るガスの大半はパイプライン経由でタイに輸出されるが、一部は国内消費で、ミヤインカレーの国営セメント工場などに送られる。

・死者・行方不明者約14万人を出したサイクロン「ナルギス」の襲来から1年がたった2日、在日ビル

マ人約160人が東京の国連大学前で追悼集会を行い、犠牲者の冥福を祈った。タイや米国など世界各地でも追悼イベントが行われた。

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など

新たな発表はなし。

イベントなど

・ロヒンギャ民族難民申請者M氏、難民の認定をしない処分取消等請求事件口頭弁論(福岡地裁303号法廷、14日10時半～)、同Z、L、N各氏口頭弁論(福岡地裁303号法廷、19日10時半～)。両日とも終了後、福岡県弁護士会館2階で報告会あり。

・ブリッジエーションアジアパン緊急企画!サイクロン被災地支援BAJ報告会～復興途上の被災地から(JICA地球ひろば3F、15日18時～)★要申込

・ロヒンギャ民族集団訴訟(難民不認定処分・退去強制令発付の取消などを求める)原告H、A、J各氏本人尋問(東京地裁709号法廷、20日14時～)

・国民民主連盟(NLD)総選挙勝利記念デモ行進NLD(解放地域)日本支部主催(港区六本木三河台公園、27日14時集合)

・日本ビルマ救援センター「月例ビルマ問題学習会」宇田有三氏(大阪ボランティアセンター、29日19時～)

・第57回ビルマ市民フォーラム例会(池袋・ECOとしま7階、30日18時～)

☆いとうせいこう×沢知恵×ダブマスターX「ミャンマー軍事政権に抗議するポエトリー・リーディングQUIET」好評発売中。売上げの一部がサイクロン被災支援に。

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ
ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165